

福祉報 彩 凜

いろいろ

創刊号

令和2年11月1日

奥山老人ホーム基本理念

「私たちは、これまでの繁栄を築き上げた高齢者の皆さんが、今後も自立のための援助と地域社会で幸せに暮らすことをめざし、創立者（方廣寺）の遺志の許、地域の高齢者の福祉のため笑顔とまごころでサービスを提供いたします」



令和元年度地域交流スポーツ大会の様子

創立六十五周年を迎えて

社会福祉法人奥山老人ホーム

理事長 法山 高秀

令和二年、西暦二〇二〇年東京オリンピックが開催されるはずであった今年、新型コロナウイルスによって世界中の全てが変わってしまいました。そのような大変革が起きてしまいうち、奥山老人ホームは創立六十五周年を迎えます

た。創業当時の足利紫山管長様の遺志を受け、さらには地元の皆様のおかげで支障の多いことにこの六十五年間には色々なことがあった事と思います。

幾つかの試練を乗り越えて現在が在ることは、奥山老人ホームに關わって頂いた多くの皆様方の協力添えの「おかげさま」です。国際語にもなったこの「おかげさま」

の感謝の心を持ち、今後ともこの施設が長く存在出来るように「笑顔とまごころ」を持つて地域の高齢者福祉のために努めて行きたいと思えます。引き続き地元の皆様はじめ関係各位のご協力、ご支援をお願いいたします。

凜と彩られる



今回、奥山老人ホーム、引佐みやまの里共同で創刊号として広報誌を出すにあたり、広報誌のタイトルを「彩凜（いろいろ）」と名付けました。職員がご利用者様と敷地内を散歩している際、七月に降った豪雨にも負けず、八月の酷暑にも負けずに「凜」として咲いているヤマユリを見て「疲れているけど綺麗だね」「緑の中に白が映えて綺麗だね」というお話をしたとのことでした。緑に囲まれた奥山という地域は、二〇二〇年の異常気象にも負けず、「凜」として咲く草花によって「彩られている」ことを実感する出来事でした。

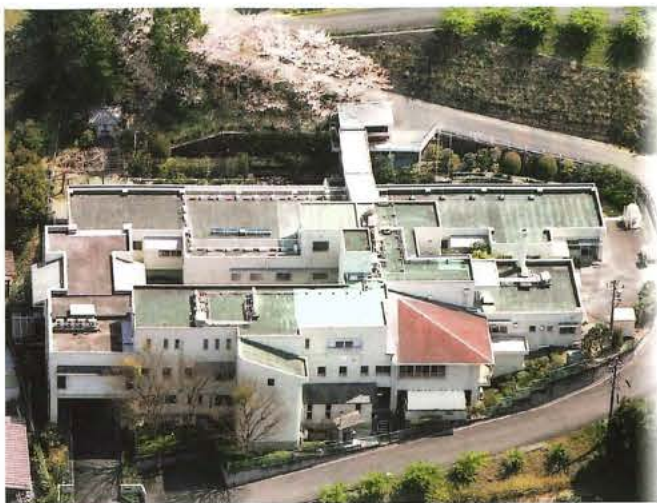
また、創刊号ということで、真っ白な広報誌を様々な色で「いろいろ」たいという願いを込めたタイトルになっております。

ご挨拶



奥山老人ホーム 寮長
峰野 政博

養護老人ホーム奥山老人ホーム
寮長の峰野政博です。
昭和三十年二月に門前の地に地域のみなさまのご援助により三十人の定員で誕生した養護老人ホームが、現在奥山区に移り、五十人定員となりました。



平成四年からはデイサービスセンターが開設され、入所の高齢者の皆さんのみならず在宅の皆さんの地域の皆さんへのサービスが本格的にはじまりました。以降平成十二年からの介護保険制度により奥山老人ホームの役割も拡がってまいりました。

人生八十年時代と言われている頃が懐かしく、今や百年と言われている。誰もが医療や福祉事業の恩恵を受けて長生きが出来るようになりましたが、その担い手は人材不足が叫ばれて不安な一面も存在します。

いつまでも健康で長生きが一番ですが、加齢とともにあちこちにガタが来るのも病気を罹患するのにも致し方ない運命です。

人は一人では生きられないと申します。皆さんで支えあう社会づくりを目指して世の中が動いてくれることを願っています。

今後も社会福祉法人としての役割を担い、地域貢献活動にも努めてまいりたいと思います。皆様方のご支援・ご協力を引き続きお願いいたします。



養護老人ホーム

養護老人ホームは六十五歳以上の方で「環境上の理由」及び「経済的な理由」により自宅での生活が困難な方が対象となります。私たち職員は入所者の方が自立した日常生活が送れるように健康管理や生活支援を行っています。心身機能が低下した方には食事、入浴、排泄の介助も行います。

明るく家庭的な雰囲気の中で安心して生活を送れるような支援を目指しています。

あかねセンター

あかねセンター（通所介護）は、平成四年四月から介護事業を行っています。この地域では、初めての介護事業として、地域の皆様と共に二十八年間、歩んできました。

あかねセンターは、デイサービスの特徴を生かして、地域の皆様の健康状態を把握し、日常生活の相談を受け、楽しい時を過ごしていただいています。



居宅介護支援事業所

奥山老人ホームでは、只今三名のケアマネージャーが在籍しており、介護・福祉に関する相談に、いつでも対応できるよう努めています。

医療機関・福祉事業所をはじめとした多職種と共に支援を充実させ、地域の実情に応じた様々なサービスを活用しながら、ご本人様・ご家族様の心身の負担を少しでも軽減して生活できるようにお手伝いさせていただければと思います。



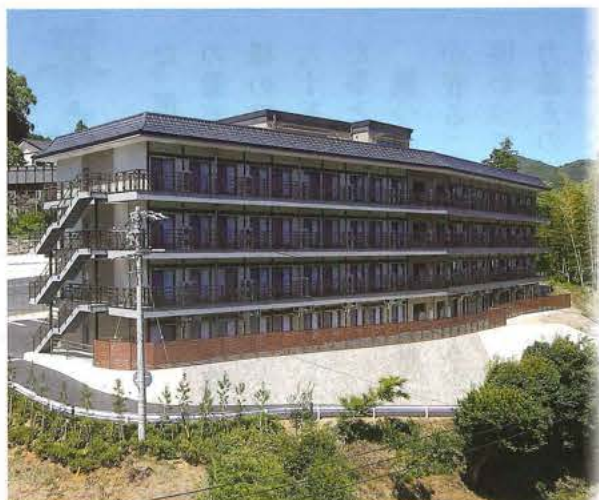
ご挨拶



引佐みやまの里 施設長
雨宮 努

二〇二〇年八月みやまの里の施設長に就任致しました。これまで、聖隷福祉事業団の各施設で看護師として、また施設長として仕事をしてきましたが、今回縁あってみやまの里で仕事をさせて頂くこととなりました。

みやまの里は、浜松市、地域の



要請を受け、地域のご高齢者の福祉の向上を目指し、三年前に社会福祉法人奥山老人ホームの施設として、事業を開始致しました。
法人の理念は「私たちはこれまでの繁栄を築き上げた高齢者の皆さんが、今後も自立のための援助と地域社会で幸せに暮らすことをめざし、創立者（方廣寺）の遺志の許、地域の高齢者の福祉のため笑顔とまごころでサービスを提供します。」です。奥山老人ホームは六十数年前に、方廣寺の開山無文元選禪師が方廣寺に悲田院・敬田院を設け貧困に苦しむ方々を救済されたことに、深く思いをはせられ、開山様の思いを、紫山老師が奥山老人ホームという形で実現されたと記されています。私たちみやまの里も、理念や開山様の思いを受け継ぎながら、基を一にする奥山老人ホームと共に、地域の高齢者福祉の一端を担ってまいりたいと思っています。

経営・運営はまだ道半ばで、苦難の途にありますが、方廣寺をはじめ地域の方々のご支援を賜りながら、職員一同職務に邁進して参りたいと思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームとは、要介護度が三以上の高齢者を対象とし、在宅介護が困難な方のための施設です。引佐みやまの里は、「ユニット型特別養護老人ホーム」という、入居者様のペースに合わせて介護を行う「個別ケア」を基本としています。居室を十人以下の少人数のグループに分けてユニットとし、家庭的な雰囲気の中で、きめ細やかな介護サービスを提供しています。このため、入居者様が無理なくご自分のリズムで過ごしやすくなり、より自分らしい生活を送ることができると特徴となっております。



短期入所生活介護
（ショートステイ）

短期入所生活介護は、要介護一～要介護五の方まで、幅広い介護度の方にご利用いただくことができます。引佐みやまの里は、特養と併設されている為、特養と同じようにユニット型になりますので、ご自分のリズムで生活をしていただくことができます。

冠婚葬祭でどうしてもご利用者様にお一人の時間が出来てしまうことが心配といった際、台風等の自然災害時の際、安心して生活できるように、短期間、必要時のみにご利用いただく事もできます。



養護

日々の食事で、30種類の食材料を摂るのが望ましいと言われています。奥山老人ホームでは、毎月誕生日をお祝いする誕生会を実施しています。

毎年、春と秋に日帰り旅行へ出掛けています。今年はコロナの影響で春も秋も中止となりました。去年の秋は日本平夢テラスへ行きエスパルスドリームプラザの清水横丁で食事をして、富士山清水みなとクルーズに乗りました。

栄養士さんからのアドバイス

夏の疲れを癒すため、そして寒さ厳しい冬に向かう為に

エネルギーとなる、糖質や脂質 → 穀類・油脂・砂糖
血や肉となるたんぱく質 → 肉・魚・卵・豆腐
体の調子を整えるビタミン、ミネラル、食物繊維 → 野菜・芋・果物

を日々のお食事で、30種類を目標の一つとして摂取して下さい。

8月の誕生日献立の紹介です。(※)内は使用食数

- ・うなぎ散らし寿司(12種)
- ・炊き合わせ(5種)
- ・もずく和え(6種)
- ・赤だし(3種)
- ・メロン・ゴールデンキウイの盛り合わせ(2種)
- ・レモンレアチーズケーキ(3種)

4種類は重複食材ですが、合計27種類の食材を使用しています

コロナ禍のため、施設の行事が難しい状況ではありますが、9月15日に敬老会を開催しました。普通食・やわらか食の方は松華堂風お祝い膳、嚥下食・ミキサー食の方はご自身で食べやすいよう、食器は普段通りにし、ランチョンマットを華やかにして目でも楽しんでいただけるようお食事を提供させていただきました。また、記念長寿の方には職員より、御祝いのメッセージの色紙をお渡ししました。



施設で手作り

【敬老会】最高齢



【敬老会】普通食



【敬老会】ミキサー食



【敬老会】嚥下食

【敬老会】やわらか食



海老天
とっても
美味しいよ!



あかねセンター

- ①毎月避難訓練を行っています。9月1日には、総合防災訓練も行い、防災意識を啓発しています。
- ②あかねセンターの訓練の中で、手の運動があります。利用者の方々の手作業の一つで菊の花びらを作って頂きました。職員が形成し、あかねセンターで菊花展を展示しました。
- ③送迎には、新型のシエンタを使用しています。乗り降りがとても楽で利用者の方にも好評です。

運動不足にならないように毎日9時30分と16時30分にラジオ体操と5分間のウォーキングをしています。



イチ、ニツ、サン!



養護

花の水やりをやっていただき玄関の花が猛暑を乗り切りました。



月に一度、引佐図書館から来る移動図書館を多くの方が利用しています。多い方で6~8冊借ります。



お一人お一人に合わせた機能訓練を行っています。



昨年12月より、歯科衛生士の介入で口腔ケアに力をいれております。嚥む行為は、脳に刺激を与え認知機能の低下予防にもなります。

入浴後でさっぱり!



お一人お一人の体調に合わせたお風呂に入浴していただけます。ヒバ・リフト・特殊浴槽がございます。



ヒバ風呂



リフト浴槽



特殊浴槽

財産目録

令和02年3月31日現在

単位:円

資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	20,564,885
事業未収金	38,121,988
未収金	49,880
未収補助金	1,932,000
立替金	2,181,201
その他の流動資産	7,052
流動資産合計	62,857,006
2. 固定資産	
土地	211,234,700
建物	1,085,879,708
基本財産合計	1,297,114,408
3. その他の固定資産	
建物	5,639,582
構築物	41,447,284
機械及び装置	2
車輛運搬具	3
器具及び備品	46,794,093
有形リース資産	8,893,500
権利	343,937
無形リース資産	4,733,479
退職給付引当資産	3,730,524
人件費積立資産	0
施設整備等積立資産	33,001,000
建物積立資産	15,264,376
長期前払費用	0
その他の固定資産合計	159,847,780
固定資産合計	1,456,962,188
資産合計	1,519,819,194
II 負債の部	
1. 流動負債	
短期運営資金借入金	6,565,800
事業未払金	13,128,259
1年以内返済予定リース債務	2,819,520
預り金	182,861
職員預り金	921,377
賞与引当金	10,180,876
流動負債合計	33,798,693
2. 固定負債	
設備資金借入金	1,190,000,000
リース債務	10,795,137
退職給付引当金	3,730,524
固定負債合計	1,204,525,661
負債合計	1,238,324,354
差引純資産	281,494,840

貸借対照表

令和02年3月31日現在

単位:円

資産の部	負債の部
決算額	決算額
流動資産	流動負債
62,857,006	33,798,693
現金預金	短期運営資金借入金
20,564,885	6,565,800
事業未収金	事業未払金
38,121,988	13,128,259
未収金	1年以内返済予定リース債務
49,880	2,819,520
未収補助金	未払費用
1,932,000	0
立替金	預り金
2,181,201	182,861
その他の流動資産	職員預り金
7,052	921,377
固定資産	賞与引当金
1,456,962,188	10,180,876
基本財産	固定負債
1,297,114,408	1,204,525,661
土地	設備資金借入金
211,234,700	1,190,000,000
建物	リース債務
1,085,879,708	10,795,137
その他の固定資産	退職給付引当金
159,847,780	3,730,524
建物	負債の部合計
5,639,582	1,238,324,354
構築物	純資産の部
41,447,284	基本金
機械及び装置	179,398,807
2	第一号基本金
車輛運搬具	179,398,807
3	国庫補助金等特別積立金
器具及び備品	190,743,137
46,794,093	その他の積立金
有形リース資産	48,265,376
8,893,500	人件費積立金
権利	0
343,937	施設整備等積立金
無形リース資産	33,001,000
4,733,479	建物積立金
退職給付引当資産	15,264,376
3,730,524	次期繰越活動増減差額
人件費積立資産	△ 136,912,480
0	(うち当期活動増減差額)
施設整備等積立資産	△ 88,743,313
33,001,000	純資産の部合計
建物積立資産	281,494,840
15,264,376	負債及び純資産の部合計
長期前払費用	1,519,819,194
0	
資産の部合計	
1,519,819,194	

資金収支計算書

自 平成31年4月1日
至 令和02年3月31日

単位:円

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A-B)
介護保険収入	274,012,619	278,096,268	△ 4,083,649
老人福祉事業収入	114,134,000	114,118,315	15,685
その他の事業収入	5,502,000	5,744,605	△ 242,605
経常経費寄附金収入	112,000	41,840	70,160
受取利息配当金収入	78,032	5,146	72,886
その他の収入	897,187	985,784	△ 88,597
事業活動収入計(1)	394,735,838	398,991,958	△ 4,256,120
人件費支出	335,828,155	329,588,613	6,239,542
事業費支出	80,780,280	77,449,674	3,330,606
事務費支出	23,467,229	22,115,057	1,352,172
利用者負担軽減額	56,000	54,928	1,072
支払利息支出	2,672,992	3,015,843	△ 342,851
事業活動支出計(2)	442,804,656	432,224,115	10,580,541
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 48,068,818	△ 33,232,157	△ 14,836,661
施設整備等寄附金収入	1,310,000	1,307,845	2,155
施設整備等収入計(4)	1,310,000	1,307,845	2,155
固定資産取得支出	344,000	340,680	3,320
ファイナンス・リース債務の返済支出	4,679,520	4,625,733	53,787
施設整備等支出計(5)	5,023,520	4,966,413	57,107
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3,713,520	△ 3,658,568	△ 54,952
積立資産取崩収入	13,641,000	13,818,899	△ 177,899
その他の活動収入計(7)	13,641,000	13,818,899	△ 177,899
長期運営資金借入金元金償還支出	1,000	0	1,000
積立資産支出	2,081,800	2,066,845	14,955
その他の活動による支出	0	55,200	△ 55,200
その他の活動支出計(8)	2,082,800	2,122,045	△ 39,245
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	11,558,200	11,696,854	△ 138,654
予備費支出計(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 40,224,138	△ 25,193,871	△ 15,030,267
前期末支払資金残高(12)	55,124,551	67,252,580	△ 12,128,029
当期末支払資金残高(11)+(12)	14,900,413	42,058,709	△ 27,158,296

事業活動収支計算書

自 平成31年4月1日
至 令和02年3月31日

単位:円

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A-B)
介護保険事業収益	278,096,268	241,608,498	36,487,770
老人福祉事業収益	114,118,315	107,547,942	6,570,373
その他の事業収益	5,744,605	6,215,725	△ 471,120
経常経費寄附金収益	41,840	0	41,840
サービス活動収益計(1)	398,001,028	355,372,165	42,628,863
人件費	328,896,662	322,471,321	6,425,341
事業費	77,998,487	67,787,313	10,211,174
事務費	22,115,057	50,708,780	△ 28,593,723
利用者負担軽減額	54,928	205	54,723
減価償却費	72,362,137	72,455,244	△ 93,107
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 15,400,000	△ 15,404,436	4,436
サービス活動費用計(2)	486,027,271	498,018,427	△ 11,991,156
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 88,026,243	△ 142,646,262	54,620,019
受取利息配当金収益	5,146	9,581	△ 4,435
その他のサービス活動外収益	985,784	567,103	418,681
サービス活動外収益計(4)	990,930	576,684	414,246
支払利息	3,015,843	2,158,513	857,330
その他のサービス活動外費用	238,200	69,000	169,200
サービス活動外費用計(5)	3,254,043	2,227,513	1,026,530
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△ 2,263,113	△ 1,650,829	△ 612,284
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 90,289,356	△ 144,297,091	54,007,735
施設整備等寄附金収益	1,307,845	1,311,365	△ 3,520
固定資産受贈額	0	111,200	△ 111,200
その他の特別収益	238,200	151,800	86,400
特別収益計(8)	1,546,045	1,574,365	△ 28,320
固定資産売却損・処分損	2	89,436	△ 89,434
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	△ 72,459	72,459
特別費用計(9)	2	16,977	△ 16,975
特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,546,043	1,557,388	△ 11,345
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 88,743,313	△ 142,739,703	53,996,390
前期繰越活動増減差額(12)	△ 59,366,322	△ 4,831,820	△ 54,534,502
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△ 148,109,635	△ 147,571,523	△ 538,112
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	12,505,000	89,516,566	△ 77,011,566
その他の積立金積立額(16)	1,307,845	1,311,365	△ 3,520
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△ 136,912,480	△ 59,366,322	△ 77,546,158

相 談

苦 情 受 付

奥山老人ホーム

コロナの渦中、面会制限をしていたが、ご利用者様家族に対し、ご利用者様の近況をお知らせ出来ない状況が続いていた。

最低でも月に1度はご家族様へご利用者様の写真を載せたメッセージカードの送付をさせていただく。



引佐みやまの里

去年は依頼されなかった物品が、今年は依頼されました。本人が生活し易いように準備してあげたいので、欲しい物は都度お知らせいただいた方が、安心できます。

ご家族様に不安な思いをさせてしまったことを謝罪し、今後は都度ご連絡させていただく旨をお伝えし、ご理解いただく。

歯科衛生士より、口腔ケアの指導を受ける際、口腔ケアの指導をするトムツとした態度をする介護職員が1名いて、心が痛んだとお話あり。

施設長より、歯科衛生士に謝罪をし、なぜ歯科衛生士の先生に介入していただいていたのか、職員への周知徹底をし、接遇マナーを改めて見直す。

入所者の引受人が職員室で金銭の件で相談を受けていた際に、他入所者のトイレ介助中だった職員の言葉遣いに対して「不快に思った」と注意の意見あり。

施設長より、言葉遣いに対する研修(スピーチロック)等を行っているが徹底されていないことを謝罪し、改めて全職員に指導を行い今回の件を今後活かしていく事を約束した。引受人も理解を示された。

入所者より、何かあっても以前から入所している方が有利になり新しく入って来た人の意見が通らないとの意見あり。(投書箱に投書)

差出人不明の為、入所者全員が集まった際に断りを入れてから全文を読み上げ差出人を特定し話を聞いた。職員は人を見て優劣を決めている訳では無い事・入所者同士で言い合うと口論になってしまうので職員にどんな事でも良いので話して下さいと伝えた。

入所者より、食堂で一部の方が食事開始まで席で延々おしゃべりをしていてうるさく思います。主に悪口なので席替えを行えませんか?との相談あり。(投書箱に投書)

食堂の席替えについて検討中であったので、今回の意見も踏まえて席替えを行う旨を伝えた。





地域貢献事業



奥山老人ホームでは奥山地区連合自治会からの委託で奥山グラウンドの受付やいなさみどりバス応援団ステッカーの販売を行っていますので皆様のご協力をお願いします。



求人募集

介護職員、厨房職員の募集を行っております。

明るい職場で一緒に働きませんか？

まずはお気軽にお問い合わせください。

奥山老人ホーム ☎ 053-543-0320

引佐みやまの里 ☎ 053-528-4050

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため地域交流事業が中止となり皆様との交流の場が減っています。地域安全パトロール活動(青パト)での車の貸し出し、会議室や備品等の貸し出しも行っていますのでお気軽にお問い合わせください。そして、地域に密着した施設を目指していきたいと思っています。

編集後記



今回は新型コロナウイルスの影響で、世間でも様々な催し物が中止となり奥山老人ホームでも当初予定をしていた様々な行事や地域交流事業など中止にせざるを得ない状況下での広報誌「彩凜」の作成となりました。

また、今回は引佐みやまの里と合同での創刊号発行でした。打ち合わせで意見を色々と出し合った結果、ページで分けるのではなく上下でお互いの施設を分けてみたら他の広報誌と違いが出て良いのではないかと？という意見に賛同が多く集まり、この様な誌面となっています。

コロナ禍での制作活動は通常時よりも色々な面で大変でしたが反省する所も多くあり、良い経験になりました。(T)

今回、奥山老人ホームと引佐みやまの里とで初めて、共同での広報誌を創刊するにあたり、本来であれば、オリンピックが開催されるはずであった記念すべき二〇二〇年、コロナウイルスにより、様々なことに対して制限された生活、新しい生活様式を余儀なくされてしまいました。

そんな中で、タイトル「彩凜」の意味にも込められたように、生活様式は変わってしまいましたが、奥山の地域の自然は、例年と変わらず凜として美しい草花に彩られており、変わらないものも、もちろんあるのだなと実感しました。編集してく中で、勉強させていただくことが多く、沢山の方のご協力の下、刊行できたことに心から感謝しております。(M)